

◎今年度もいいスタートを切りました

昨年度に引き続き、児童指導を担当させていただきます斎藤です。押上小学校の全児童をよりよく成長させるために、職員一丸となってがんばりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。押上小での児童の様子や、今取り組んでいること、保護者の皆様へのお願ひなどを、この児童指導だよりを使ってお伝えしていきたいと思ひます。「すべては押上小の子どもたちのために」を合ひ言葉に、今年度も御協力の程、よろしくお願ひいたします。

さて、先週の水曜日に入学式が行われ、全校児童150名が揃いました。昨年度よりも人数は減っていますが、それを感じさせない元気なあいさつが校内で飛び交っています。私は2階フロアの4・5・6年生と廊下ですれ違うことが多いのですが、しっかりと目を見てあいさつしてくれたり、軽く会釈しながらあいさつしてくれたり、自分の学校の子どもたちですが、素晴らしいなと感じています。もちろん、1階フロアで生活している2・3年生も元気にあいさつしてくれます。1学年上に進級したことで、より一層意識が高まっているようです。そういう前向きな空気をみんなで作っていけるのが、今の押上小の強みかもしれません。1年生も、きっと元気なあいさつをすぐに覚えてくれるに違いありません。しかし、その一方で、あいさつをせずに通り過ぎようとする子もいます。こちらからあいさつをすれば、思い出したかのようにあいさつを返してくれます。長期休業明けは、「あいさつすることを忘れてしまった子」が増える時期でもあるので、今週のめあても「自分から進んであいさつしよう」になっています。

昨年度、児童指導だよりで次のように書いたことがあります。

あいさつの範囲の広がり、その子の関わりのある世界の広がり、を表しているのだと思ひます。(中略) 押上小学校の児童の中に、学校に来校した見ず知らずのお客さんに、笑顔で元気よくあいさつできる子が何人もいます。その子達はきっと、自分の関わりのある世界がとても広いお子さんなのだと思います。そして、もしかしたら押上小の代表としての自覚があるのかもしれない。お客さんにとっては、その場で出会った子が押上小の代表なのですから。その子たちのことを、私は「すごいな。」と尊敬しています。

今年度も早速、6年生児童がお客さんにこのようなあいさつをしている姿を見かけました。素晴らしいです。全員の子が、自分とそれ以外の人たちとの関わりを広げ、あいさつの範囲を広げていけるように、今年度も力を入れて指導していきたいと、改めて思ひました。今年度も、下記の目指すあいさつに向かって、根気強く取り組んでいきたいと思ひます。御家庭の方でも、同一歩調で目指すあいさつに向かっていただけると助かります。

目指すあいさつ

「自分から進んで、明るく元気に、会釈をしながらするあいさつ」